

FFG 調査月報

MONTHLY REPORT



一歩先を行く発想で、
地域に真のゆたかさを。

5.
6

2025
VOL.172

Top Interview

サムティホールディングス 株式会社 代表取締役社長 小川 靖展 氏

株式会社 栗田工業 代表取締役会長 栗田 昭 氏 ・ 代表取締役社長 栗田 文昭 氏

株式会社 岩崎食品(岩崎本舗) 代表取締役 岩崎 礼司 氏



不動産を、 超えてゆけ。



SAMTY

サムティ ブランドパートナー
山本 由伸



サムティグループは、メジャーリーグベースボールの
オフィシャルスポンサーです。

<https://www.samty-holdings.com/ja/index.html>

メジャーリーグベースボールの商標及び著作権は、メジャーリーグベースボールの許可に基づいて使用しています。詳しくはMLB.comを参照ください。

FFG調査月報

CONTENTS

5・6

2025 VOL.172

読者アンケートのお願い

今後のより良い誌面作りの参考とさせていただくため、アンケートのご協力を
お願い致します。



<https://prod.qlr.jp/tlmtwdxg>



Top Interview

- 2 **福岡銀行**
サムティホールディングス 株式会社 代表取締役社長 小川 靖展 氏
- 8 **熊本銀行**
株式会社 栗田工業
代表取締役会長 栗田 昭 氏 ・ 代表取締役社長 栗田 文昭 氏
- 14 **十八親和銀行**
株式会社 岩崎食品(岩崎本舗) 代表取締役 岩崎 礼司 氏
- 20 **地域とつながるFFG連携プロジェクト**
伝統の技が息づく「八女すだれ」の魅力発信！
クラフトファクトリーツアー造成事業
- 22 **海外駐在員事務所が伝えるグローバルの今**
ホーチミン
- 24 **FFG Victory Road NEWS**
「FFGブルーグルーパーズ」2025年シーズン始動！
- 26 **課題解決の鍵(BIZSHIP) NEW!**
九州安芸重機運輸 株式会社 代表取締役社長 菅 康紀 氏
- 32 **支店長が聞く**
株式会社 福住 代表取締役社長 河野 孝雄 氏
- 38 **九州企業のサステナビリティ**
抱樸グループ 理事長 奥田 知志 氏
佐世保港湾運輸 株式会社 代表取締役社長 村上 徳正 氏
西日本鋼業 株式会社 代表取締役社長 西山 寛 氏
- 44 **懐かしい情景を探して**
風ニモマケズ、雨ニモマケズ
- 45 **九州の星**
ロックバンド「ベジフル・マシンガンズ」(熊本大同青果 株式会社)
- 48 **お城巡り**
北海道・東北編
- 49 **長崎だより**
針尾無線塔保存会
- 52 **今月の表紙**
福岡銀行 若松支店

バックナンバーの
お知らせ

「FFG調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。





 福岡銀行

「不動産を、超えてゆけ。」

九州のまちづくりに貢献する

総合不動産会社。

サムテイホールディングス

株式会社

代表取締役社長

おがわ やすひろ

小川 靖展 氏

取引店／福岡銀行 本店営業部

熊本銀行 福岡営業部

十八親和銀行 福岡営業部

■会社概要

設立:1982年／所在地:(大阪本社)大阪市淀川区、(東京本社)東京都千代田区／資本金:268億4,000万円／従業員:947名(2024年12月31日現在)／事業内容:不動産開発事業、不動産ソリューション事業、不動産賃貸事業、ホテル開発・保有・運営事業 他／事業拠点:札幌支店、仙台支店、横浜支店、名古屋支店、広島支店、福岡支店

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





大阪本社エントランス(左から小川社長、五島頭取)

不動産会社の同僚3名が独立し 大阪市で起業

当社グループの原点は1982年に設立された「サムティ開発株式会社」(2005年に商号をサムティ株式会社へ変更)であり、不動産の売買・賃貸・管理を手がける事業を開始しました。創業の中心となった3名は、大阪にあった不動産会社の同僚で、脱サラして同社を立ち上げ、当初は不動産販売会社の販売代理業務から徐々に実績を積み上げていったと聞いています。

そして、当時の経験から、「分譲マンションは利益が大きい一方で、売れ残ると場所をとる『在庫』となるため、家賃の入る賃貸物件も並行して手がけ、安定収益を目指す」という、不動産売買事業に対する慎重な企業姿勢が育まれていきました。

そのおかげで、不動産業界が大打撃を被ったバブル経済崩壊を何とか乗り切り、負債はあったものの会社として勢いを取り戻しつつある2001年、私は当社に入社しました。当時は、経営陣も含めて13名の小さな会社でした。その年の資産流動化に関する法律の改正を受け、不動産投資信託について学ぶために、業界の新人としてセミナーなどに参加して勉強した日々

が思い出されます。翌年、当社は不動産流動化事業をいち早くスタートさせ、近畿財務局受付第1号となる不動産証券化を実施しています。

その後、大阪証券取引所の新市場「ヘラクレス」に上場し、2013年の東京証券取引所と大阪証券取引所の現物市場統合に伴って、東京証券取引所JASDAQ市場に上場。2015年には東京証券取引所市場第一部に市場変更となります。

また、大阪で旗揚げした当社の事業ノウハウを水平展開する形で、2011年に東京支店、2012年に福岡支店、2015年に札幌支店、2016年に名古屋支店を次々と開設。2019年には東京を本社とし、大阪と東京の2本社制に移行しました。これが、私が代表取締役社長に就任した年までの当社のおもな歩みです。

総合不動産会社の枠組みを超えて テーマパーク運営や海外展開も

ここで、現在の当社グループにおける事業をご紹介しますと、自社ブランド「S・RESIDENCE」シリーズ等の企画開発・販売を手がける「不動産開発事業」、収益



5



3 1



6



4 2





小川社長

不動産等の取得・再生・販売をおこなう「不動産ソリューション事業」、海外における投資と住宅分譲事業の「海外事業」、マンション、オフィスビル、商業施設等の賃貸をおこなう「不動産賃貸事業」、ホテルの賃貸および管理の「ホテル賃貸・運営事業」、マンション、オフィスビル、商業施設等の管理を担う「不動産管理事業」といった事業セグメントとなります。

創業以来、40年以上にわたる活動を経て現在は、不動産に関わる一連のビジネスをグループで担う総合不動産会社として、当初から手がけてきた賃貸マンション・ホテル・オフィス等の収益不動産の企画・開発・販売にとどまらず、当社グループの保有物件・管理運営物件の価値向上や、不動産投資信託の運用受託等のアセットマネジメント事業にも業容を拡大しています。

なかでも、兵庫県三木市の「ネスタリゾート神戸」を始めとするテーマパークの運営事業は新たな取り組みといえる領域で、ホテル開発のノウハウを活かした価値創造ビジネスです。今年7月、沖縄本島北部にオープンする一大テーマパーク「ジャングリア沖縄」にも当社グループは出資しており、リゾートにふさわしいオフィシャルホテル建設へ向けて活動を進めています。

さらには、今後起こる、より一層のグローバル化社会への移行を見すえ、ベトナムのハノイとホーチミン、オーストラリアのシドニーにおける住宅分譲事業プロジェクトにも参加しています。ハノイの住宅分譲事業は、全58棟、総人口20万人以上を見込む壮大なスケールのプロジェクトです。わが国で戦後の高度経済成長長期に実施されたニュータウン開発のような規模の「まちづくり」は、もはや日本国内では実現不可能とされるため、こうしたプロジェクトへの参画は、貴重な経験値とともに住宅開発の醍醐味を私たちにもたらししてくれるものと考えています。

自分たちらしいビジネスを実現するための選択

当社グループに関する直近のトピックと



11 9



7



10



8



1.対談風景／2.大阪本社内を見学／3.大阪本社と東京本社はリアルタイムで中継されている／4.各フロアに設置されている休憩スペース／5.戦略会議室で一枚／6.戦略会議室には各席にモニター画面が備え付けられている／7.従業員の休憩室／8.ワールドシリーズで使用されたボールが飾られている／9.ブランドパートナー山本由伸投手(ドジャース)がCM撮影で使用したユニフォームとスーツ／10.博多駅から徒歩4分の好立地「エスペリアホテル博多」／11.企業メッセージ



前列左2人目から小川社長、五島頭取、山本店営業部長(福岡銀行)、後列左から3人目、藤原部長

いえるのが、2024年に11月に成立した投資ファンドのビルハウス・インベストメント・マネジメントとの友好的TOB(株式公開買付)による上場廃止です。

上場廃止という表面的な事実をネガティブに捉える向きもあるかと思いますが、私たちはむしろ発展するためのステップと位置づけています。というのも、これまでは会社の進路に関して株主の意見が少なからず影響を及ぼしていたからです。ある意味で、常に「増収・増益・増配」が期待され、それ以外の結果は許されない状況にあったともいえます。

当業界では、発展的成長を続けるには、事業エリアを拡げるか、物件規模を拡大していくしかありません。エリアの拡大についてはある程度達成している状況でしたから、あとは大手と競合しながら、しのぎを削るようなリスクをとる道しかありません。しかし、私たちの企業DNAを考えると、そのような方向性は自分たちに合っているとは思いませんでした。キャピタルゲインで短期的な成果を追求めるより、まずは長期的なインカムゲインビジネスによってグループの安定した収益基盤を築く。そこに、成長につながるビジネスを上乗せしていく。今回の上場廃止は、当社グループらしい活動の続け、

企業価値を向上していくための必然的で発展的な選択だったと捉えています。

スポーツのもつ力で 社内の一体感を醸成

また、当社グループを語るうえで、「スポーツの力」による一体感の醸成があらゆる事業活動の推進力となっている点は、顕著な特徴といえるでしょう。

2023年に発足した「サムティ硬式野球部」は、テーマパーク事業の柱であるネスタリゾート神戸に本拠地スタジアムを構え、活動拠点としています。今春から新チームが活動を開始いたしました。その他にも、デフ水泳、デフ卓球、車いすラグビーのアスリートの雇用や、オリックス・バファローズのオフィシャルスポンサー、JFAこころのプロジェクト「夢の教室」協賛など、スポーツ振興やアスリート支援を通じ、地域の発展に寄与するとともに、誰もが夢をもって成長できる社会の実現に貢献する活動をこれまでおこなってきました。

さらに、メジャーリーグでのさらなる活躍が期待される山本由伸投手ですが、2023年のオリックス・バファローズ時代に、すでに当社

グループのブランドパートナーに就任していただいており、ロサンゼルス・ドジャースでの登板も全社を挙げて応援しています。昨年のワールドシリーズ優勝に貢献したのを機に、今年は全社員にドジャースのユニフォームを支給し、登板日は、業務に支障のないかぎり社内での観戦を奨励することになっています。

成長著しい九州の さらなる発展に寄与したい

当社グループでは、福岡を中心として、熊本、鹿児島において賃貸マンションの開発を、また、長崎と博多でホテル事業を展開しており、更に福岡市博多区でホテル開発を進行中ですが、私自身が長崎出身ということもあって、事業を通じた九州の地域社会への貢献に、継続的に注力していきたいと考えています。

福岡市をとってみても、インバウンド需要の高まり、空港滑走路の増設、アジア諸国に近い地の利と、都市としての成長を後押しする要素が目立ちます。「サムティといえば、この土地の会社」という認識をみなさんにもっていただけるようになるまで、九州経済の発展に寄与していきたい所存です。

■ インタビューを終えて

福岡銀行 取締役頭取 五島 久

当社は1982年大阪で設立以来、テーマパーク運営や海外での住宅分譲事業など、総合不動産会社として成長を遂げました。2012年には“第二の創業地”として福岡支店を開設、優良住宅やホテル事業を積極的に展開しています。また、応援団の経験もある小川社長によるスポーツ振興やアスリート支援は、従業員と会社の一体感を高める要素となっており、当社の魅力の一つです。

「不動産を超えてゆけ。」というスローガンには、新たな挑戦と地域発展への強い想いが込められています。ジャングリア沖縄への出資もその一環であり、このチャレンジングな姿勢は、まさに“第二の創業地”福岡の勢いとも重なります。当社の更なる飛躍と九州経済の成長、そんなストーリーの実現を期待します。





 熊本銀行

顧客ごとに製品をカスタマイズ。
高度なオーダーメイド技術で
幅広いニーズに応える。

株式会社 栗田工業
くり た こうぎょう

代表取締役会長

くり た あきら
栗田 昭氏

代表取締役社長

くり た ふみ あき
栗田 文昭氏

取引店／熊本銀行 東託麻支店
福岡銀行 熊本営業部

■会社概要

設立:1949年／所在地:熊本市東区／資本金:
2,000万円／従業員:59名(2025年4月現在)／
事業内容:空調・換気・排煙ダクト・塗装乾燥設備
の設計・施工／事業拠点:本社工場、第二工場、
第三工場、東京営業所、東北営業所

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





第一工場内塗装ブース前(左から栗田文昭社長、栗田昭会長、坂本頭取)

戦後に板金業から出発し 空調のプロ集団へ

当社は、自動車の修理工場などで用いられる車両用塗装・乾燥ブースの製造と施工、およびダクト（空調・換気・排煙のために設置される通風管）の製造と施工を手がける専門会社です。創業は戦後4年目の1949年。栗田文作（昭会長の父）が熊本市内で立ち上げた「栗田板金工作所」が原点です。

当初は、社名のとおり建築資材に使われる板金の製作がおもな事業でしたが、数年後に、鉄道会社の機械設備室や電話局の自動交換機室など、機械からの放熱を処理するダクトの製作と取付を請け負うようになったところから、ダクトとの関わりが始まりました。さらに、市庁舎などの公共施設や百貨店などの大型商業施設に冷房設備が装備されるようになると、ダクトの需要が高まり事業が進展します。1972年には株式会社へと組織変更を実施しました。1985年には新工法も導入し、ダクト事業は当社事業の大きな柱となりました。

一方で同じ頃、自動車修理に使われる塗装ブースのニーズも高まっていました。塗料を薄めるためのシンナーは、専門的には「有機溶剤」

と呼ばれる物質で、人体に悪影響を及ぼす性質をもっています。そのため、労働安全衛生の観点から法律で使用に関する規制が設けられ、自動車や船舶などの塗装においては、労働者の健康確保を目的として設置されたブース内で塗装作業をおこなわないといけないという決まりが、当時できたのです。

厳しい基準を満たすために、ブースは耐食性と耐久性に優れた亜鉛鉄板を用いて製造されるのですが、やはり同じ亜鉛鉄板の加工技術をダクト製造で磨いてきた当社にとつて、自動車塗装ブース製造は技術の応用が可能なため、この事業はすぐに二本目の柱となりました。

自動車塗装ブースの デザイン性に着目して事業展開

当社の基幹事業であるダクト事業は、技術的には成熟分野であり、近年、排煙用を除いては空調設備のダクトレス化が進行する状況を見るに、将来的には市場の縮小も考えられるところです。

一方、空調設備のダクトと並んで、お客さまの作業環境改善のお手伝いを目的として取り組んできた塗装・乾燥設備事業は、当社に



5



3 1



6



4 2





栗田文昭社長



栗田昭会長

とつては、創意工夫をもって独自性を打ち出せる分野といえます。ダクト事業を手がけている同業の団体に所属する会社は、九州で40社余り、全国的には約500社あります。それに対して、自動車修理用の塗装ブースを専門的に手がける会社は国内に数社しかない状況です。当社は、この分野では取扱高において全国

シェアの4割近くを有しています。栗田工業がトップクラスのシェアを獲得できたのは、当社独自の戦略があったからです。

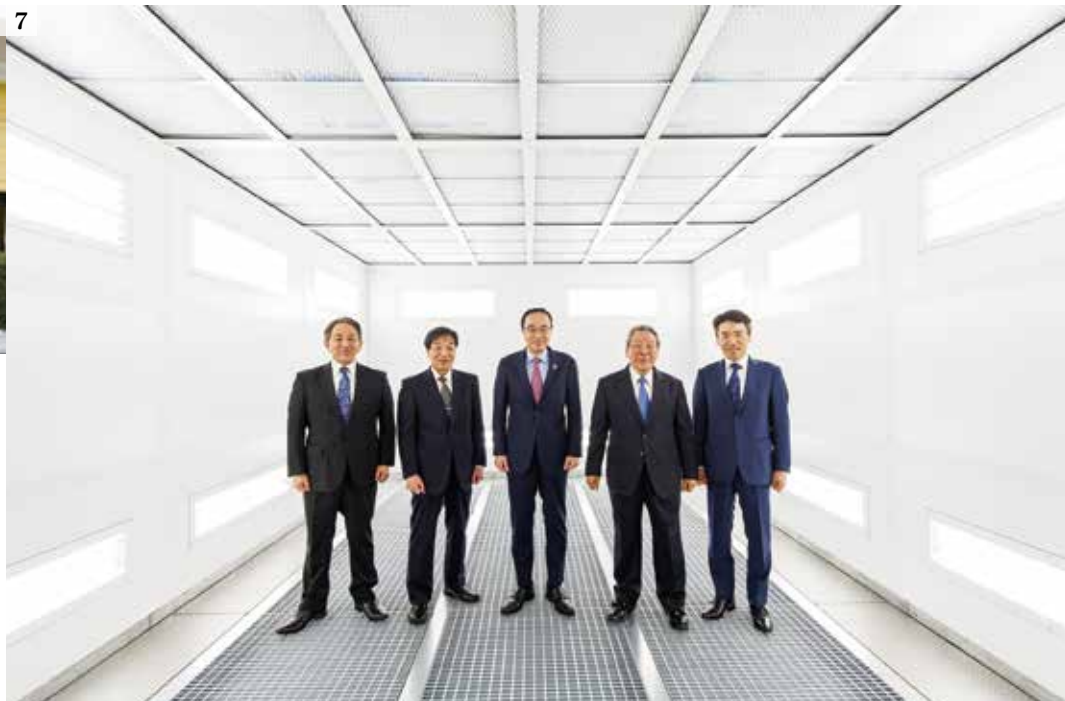
そもそも自動車用塗装ブースの製造に関しては、ヨーロッパが先駆けであり、なかでもイタリアは先進国です。広く知られているとおり、工業デザインという点では自動車自体もイタリアは先進国として注目されてきました。ですから、イタリアの自動車塗装ブースも同様に、外装の色合いなどデザイン面に特徴があります。

この事業における国内での独自性を打ち出すことを念頭においていた当社では、事業への参入当初からイタリアで開かれる展示会などへ足繁く通って、デザイン性の高い製品で勝負するための努力を続けてきました。その結果、素材の良さや構造の確かさに加えて、豊富なカラーバリエーションを有する塗装ブースをお客さまにご提供し、作業環境を快適なものにするお手伝いをおこなえるようになったのです。たとえば複数のブースで作業を分けておこなう際、ブースの色で作業内容等を区別することができるよう、デザイン性だけではなく、作業の効率化にも役立つメリットもあり、塗装ブースを活用されるお客さまに喜ばれています。



8 7

1.対談風景／2.3.塗装ブース用素材を確認／4.作業内容を聞きながら談笑／5.タレットパンチプレス見学／6.加工作業／7.塗装ブース内で記念撮影／8.企業メッセージ





前列左2人目から栗田文昭社長、栗田昭会長、坂本頭取、北本支店長(熊本銀行)

**設計から製造、施工、保守まで
すべての工程を自社でまかなう**

自動車塗装ブース事業における当社の独自性には、もうひとつの特徴があります。それは、製品の設計、製造、施工、メンテナンスの各工程を自社で一貫して手がけている点です。

一部の部材はイタリアから輸入していますが、それを用いてブースを組み立て、製品に仕上げる作業をすべて自社工場でおこなっています。同業他社では、ほぼ出来上がった物を仕入れて製品として出荷しているケースがほとんどです。製品の製造をおこなえるだけの大きさをもち工場と、製造を手がける技術者が必要になりますから、なかなか当社のような事業展開をおこなう会社が出てこないのも理解できます。

一貫体制を整えて製品を自社生産するメリットは、お客さまのご要望にきめ細やかに対応できる点に尽きます。たとえば、ブースの大きさや形ですが、お客さまの作業スペースに合わせたものに仕上げるのが可能です。また、作業目的に合わせて、複数の色を組み合わせた外装にすることもできます。ブース出入口でいえば、スライド式のシャッタータイプやカーテン状のものなど、素材や形状のカスタマイズ

も容易にできます。お客さまのご要望に対して、工夫を凝らしながらもっともふさわしい製品に仕上げるのは、製品に付加価値を加えることであり、これは既製品を扱うだけの事業では決してできません。付加価値の創造は、この事業の醍醐味であり、私たちの誇りといえます。

創業まもなくから手がけてきたダクト事業では、複雑な構造の建築構造物の内側に効率的に風を送り、快適な環境をつくる役割を担ってきました。自動車塗装ブース事業においても、ブース内部の換気と照明、温度調整を通じて作業員の健康を守ると同時に塗装工程の効率アップを図るうえで、厳選した素材と機能的な構造を追求しつつ、お客さまにもっとも役立つ製品を目指す姿勢は変わりません。すべての製品を自社で製造し管理するシステムによって、お客さまのありとあらゆるご要望に対する確かつ迅速にお応えしていくために、今後も研究と改良を重ねて、より良いパフォーマンスを実現していきます。

業容拡大を図りながら 100年企業へ

自動車の塗装および乾燥のための作業

ブースの特性を活かして、他業界に役立てる取り組みも始めています。たとえば、「植物を植える土を乾燥させるのに用いたい」とのご要望で、目的に合わせてアレンジした当社製品をお使いいただいているお客さまもいらっしゃいます。自動車塗装用に限らない、いわゆる工業用ブースの可能性は多分野に及ぶため、市場規模は大きく、これまでより収益率の高いビジネスの構築も可能だと思っています。

2023年に開設した第三工場は、自動車塗装用ブースだけでなく、その他の工業用ブースも製造する拠点と位置付け、業容拡大を目指しているところです。事業の多角化が進行した先のことも考慮して、新工場建設のための用地取得の準備をしています。

それと同時に、新たな技術者の育成も、当社の将来を左右する重要事項です。これまで毎年、塗装ブース先進国イタリアでの海外研修を実施してきましたが、今後も、視野が広く高度な技術を身に付けた人材の育成に引き続き注力していきたいと考えています。

豊かな自然に恵まれた土地で、お客さまにご提供してきた理想的な作業環境を自社においても追求しながら、全社員が笑顔で「創業100年」を迎える日へ向けて邁進を続けてまいります。

■ インタビューを終えて

熊本銀行 取締役頭取 坂本 俊宏



ビルや工場の空調・排気設備の大動脈であるダクトの製造と設置のプロとして、全国的に施工実績を積み上げてきた栗田工業。また、自動車修理の場で用いられる塗装ブース事業においても、設計から製造、施工、保守まで全工程を自社で手がけてトップクラスの業界シェアを実現されています。

近年では、その応用技術から多分野で活用できるブースにも着手し、製造拠点を増やしておられます。業容拡大へ向けて意欲的に前進を続け100年企業を目指す姿に感銘を受けました。今後も資金面と情報面で引き続きサポートさせていただきます。



十八親和銀行

家庭の味から生まれた

岩崎本舗「長崎角煮まんじゅう」

自ら行動するという信念と情熱で

挑戦し続ける。

株式会社 岩崎食品

(岩崎本舗)

代表取締役

岩崎 礼司氏

取引店／十八親和銀行 住吉支店

■会社概要

創業:1964年／所在地:長崎県長与町／資本金:500万円／従業員:189名／事業内容:角煮まんじゅうを主とした食品の製造／直営店:本社工場店、長崎スタジアムシティ店、長崎駅店、西浜町店、長崎空港店、グラバー園店、浜町観光通り店、住吉店、佐世保三ヶ町店、ハウステンボス店、マイング博多駅店、福岡空港店

会社ホームページは
こちらからどうぞ！





本社工場直売所前(左から岩崎社長、山川頭取)

始まりは初代祖父の挑戦 餃子の製造卸売

今でこそ、長崎を代表するご当地グルメのひとつと言っていたただけで成長した岩崎本舗「長崎角煮まんじゅう」ですが、ここに至るまでには祖父、父、そして私の3代にわたる幾多の挑戦がありました。

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、当社の起源は祖父（岩崎博孝^{ひろたか}）が始めた餃子の製造卸売業です。祖父は幼少期、当時中国の満州で暮らしていた叔母が長崎に帰省する度に作ってくれた餃子は何よりの好物で、年頃になるにつれて「いつかあの時の餃子で商売をしたい」との思いを抱くようになったそうです。

時が過ぎて戦後の混乱の中、疎開先から長崎に戻った祖父は実家の精肉店の横に間借りする格好で念願だった餃子の製造卸売を始めます。その後1965年、長崎市石神町に工場兼店舗を備えた岩崎食品を創業しました。

角煮まんじゅうを生み出した父 物産展販売に活路

創業後、着実に事業を進めてきたのですが、1982年7月、甚大な天災に見舞われてしまいます。長崎大水害です。当社工場も大きな被害を受け、一刻も早く復興再建の道を探らなければなりません。こうした中、祖父から呼び戻される格好で父（岩崎栄司^{えいじ}）が東京から長崎へ戻ることとなります。

父はそれまで大阪や東京の飲食店で働いていたため、料理の経験と確かな技術を有していました。持ち前の腕とアイデアを活かして多くの商品開発に挑戦し、餃子で勝負していた当社は多商品展開という新たなステージへ歩み出しました。

肉まん、焼売、かにグラタンなど多くの商品を開発しましたが、肉まんを作る包餡機を活用して新たに考案したのが角煮まんじゅうでした。長崎の卓袱料理の一品にある東坡肉^{トンポロウ}（いわゆる豚の角煮）にヒントを得たもので、角煮を伸ばした生地で包むのではなく優しく挟み込んで作ります。ふわっとした生地の隙間から出汁のうま味がしみ込んだ角煮が顔を覗かせ





岩崎社長

食欲をそそります。角煮の味付けは料理上手な祖母の逸品を再現した自慢の味で、岩崎家の家庭の味と父の開発アイデアが一つとなつて、岩崎食品独自の新しい商品が誕生しました。

販売当初は餃子や他の商品と横並びで店舗販売していましたが、新たな販売チャネルとして挑戦した物産展への出店が角煮まんじゅうの売上げと知名度を押し上げていきました。物産展は全国各地へ出向くことができました。多くの方にお試し・購入いただいたことで口コミが広がり、同時にテレビなどのメディアで取り上げられる機会も増え、岩崎本舗「長崎角煮まんじゅう」として全国に知られていきました。

新たな挑戦

コロナ禍は「今こそ勝負のとき」

私といえば、十代の頃は車好きが高じてカートレーサーになる夢を追いかけていました。九州大会のレースで上位入賞するほど情熱を注いでいましたが、人生の進路を真剣に考え始めた20歳頃に父からの後押しもあり、家業を継ぐことを決意しました。

決意が固まればあとは実行あるのみです。大学を辞めて東京の調理師学校に進学し、かつて父が修行していた飲食店で同じように鍛錬を積み、25歳で岩崎食品に入社しました。工場の製造現場勤務を経た後は、物産展で全国を飛び回る日々を過ごしました。その後2018年、33歳で父から経営の代表権を譲り受けました。社長就任後2〜3年は父の経営方針を受け継ぐことを優先し、これから私なりの経営スタイルを築いていこうとしていた矢先の2020年2月、新型コロナウイルスの感染が瞬く間に拡大し、物産展や店舗販売のすべてが停止してしまうという事態に陥りました。正に予想だにしない窮地であったことは間違いありませんでしたが、「今は我慢のとき」と耐える



1.対談風景／2.本社に隣接する工場直売所を見学／3.ふわっとした生地にとろけるような角煮を挟み込んだ角煮まんじゅう／4.5.製造する角煮まんじゅうは一日1万個ほど。気象条件などで生地の発酵時間を変えている／6.試食／7.岩崎社長自らキッチンカーで販売／8.スタジアムグルメ出店のキッチンカー／9.賑わう物産展の様子／10.2024年10月にオープンした「岩崎本舗 長崎スタジアムシティ店」前にて(中央は岩崎社長)／11.企業メッセージ





前列左2人目から岩崎社長、山川頭取、山村支店長(十八親和銀行)

事業者が多い中、私は「今こそ勝負のとき」と
自分自身を鼓舞したことを覚えています。

〳会に行ける社長〳を掲げた スタジアムグルメ SNS発信が大きな反響を呼ぶ

停止した物産展等を補う新たな戦略として、SNSによる広報の充実・強化に取り組みました。2020年9月には個人情報のアカウトを開設し、顔出しと自身の言葉による情報発信を積極的に展開したところ、サッカースタジアムなどで長崎角煮まんじゅうを販売するスタジアムグルメ(スタグル)に大きな反響がありました。コロナ禍以前から、長崎のサッカークラブであるV・ファーレン長崎の試合の際にはキッチンカーで出店していたのですが、実は私一人でキッチンカーの移動設営から接客、後片付けまで行っていました。お客さまは小さなキッチンカーの販売員がまさか社長本人とは思っておらず「SNSを見ました。社長さんだったんですね!」と多くの方からお声かけいただけるようになりました。〳会に行ける社長〳を掲げたスタグルはお客さまとの

距離を近づけ、当社の信頼度向上とともにスポーツファンという新たな購買層の獲得につながっていききました。スタグルは私にとっても直接お客さまの反応を感じることができる貴重な機会でしたし、V・ファアレン長崎と共に全国を遠征するうちに長崎角煮まんじゅうの知名度も上がり、おかげさまでFUJIFILMS SUPER CUP 2023スタグルフェスで売上第1位となるまでに成長しました。

新境地を拓く「ご当地」商品

そして、目指すは

「九州の角煮まんじゅう」

現在、当社は直営店を長崎県内に10店舗、福岡県内に2店舗(マイニング博多駅店、福岡空港店)構えています。福岡での店舗販売は想像以上に難しいものでした。知名度が備わった長崎角煮まんじゅうを携えて福岡に進出したのですが、長崎のご当地グルメと銘打った商品を福岡の地でお土産として購入してくださる方は決して多くありませんでした。そこで私は「福岡で土産として販売するためには、福岡のご当地グルメでなければだめだ」と考え、

博多の醤油を使った新しい角煮まんじゅうを考案して福岡のご当地グルメとして売り出すことにしました。醤油という調味料を変えるので、角煮のうま味も変わります。看板商品の味を変えてしまうのは危険を伴うことかもしれませんが、私は常に挑戦していきたいという自らの信念を貫きました。その後「博多角煮まんじゅう」と名付けた新たな商品で売上げを伸ばすことに成功しました。

醤油は地域によって異なる味わいを持っています。「博多角煮まんじゅう」を皮切りに、今後は九州各地の醤油を使ったそれぞれの「ご当地角煮まんじゅう」を作り上げていきたいと考えています。そして、長崎のご当地グルメに留まらない九州の角煮まんじゅうというブランドに成長していくよう努力と挑戦を続けてまいります。

私は何事にも率先して挑戦してきました。苦難や失敗もありますが、これからも自らが行動するという信念を大切にすると同時に、私の姿を見た社員全員に同じようなスピリッツが浸透してほしいと願っています。長崎の名物として、贈り物として、お客さま並びに当社に関わってくださるすべての方に喜んでいただける商品作り、会社作りを目指してまいります。

■ インタビューを終えて

十八親和銀行 取締役頭取 山川 信彦

「長崎角煮まんじゅう」は、今や長崎を代表するご当地グルメの一つです。百貨店の物産展での販売のみならず、最近ではスタジアムグルメとしての認知度も高く、いま話題の長崎スタジアムシティにも出店されています。

社長自らがSNSで情報発信する姿勢や商品企画を絶妙に変化させながら九州全域への展開を目指すアイデアなど、新たな購買層の獲得・拡大に余念がありません。まさに挑戦し続ける企画力と行動力で、今後ますます発展されることを期待しています。



地域とつながる FFG連携プロジェクト

私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、
観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。
今回は、八女郡広川町の伝統工芸「八女すだれ」の
魅力発信と観光客の周遊促進に向けた取り組みについてご紹介いたします。



伝統の技が息づく「八女すだれ」の魅力発信！クラフトファクトリーツアー造成事業

広川町は、福岡県南部八女郡に位置し、一級河川筑後川水系「広川」が流れる自然豊かな地域です。農業が盛んで、いちごなどのフルーツをはじめ、西日本一の生産量を誇るガーベラや八女茶が生産されています。そんな広川町では、広大な自然とその土地で生まれた材料を活用し様々な工芸品が生み出されてきました。その中でも、二つの伝統工芸品「八女すだれ」と「久留米絣」は現在もなお引き継がれている伝統産業です。

株式会社鹿田産業（以下、鹿田産業）は、広川町で大正元年から八女すだれを製造しており、伝統技術を活かした新たなチャレンジとして、約20年前から地域資源である竹を使用したすだれを提案しています。その一環として、2023年1月に世界的建築家隈研吾氏のデザインによる「SHIKADA SHITSURAI SHOWROOM（シカダ ショールーム）」を開設。ショールームでは、伝統的な八女すだれの展示はもちろん、現代の空間に合う装飾デザインが施されているほか、地域の工芸品を展示販売するなど、地域文化や地域産品の発信を行っています。

福岡銀行地域共創部では、観光庁の「地域観光新発見事業」を活用し、鹿田産業を事業主体とした、伝統工芸「八女すだれ」と「久留米絣」の認知拡大および周遊促進に向けた取り組みの実施サポートを行いました。具体的には、建築・インテリアデザイン

ナーを招聘し、八女すだれと久留米絣の工房を巡る「伝統工芸ギャラリーツアー」の実施と、伝統工芸体験といちご、八女茶体験を掛け合わせたツアー「広川町周遊ツアー」を実施しました。FFGでは、TAPと連携し、「伝統工芸ギャラリーツアー」の企画およびデザイナーの招聘、動画・LP（※1）などのクリエイティブ制作、インフルエンサーを起用したプロモーション支援などを行いました。

伝統工芸ギャラリーツアーでは、13名のデザイナーを招聘し、鹿田産業のショールームで、すだれのルーツや新たなデザインをお伝えするとともに、すだれ編み体験で職人の技術の高さを体感していただきました。久留米絣の体験では、特徴の異なる2つの織元を巡り、工房で製造工程を間近に見ながら技法や歴史を学んでいただく内容となりました。



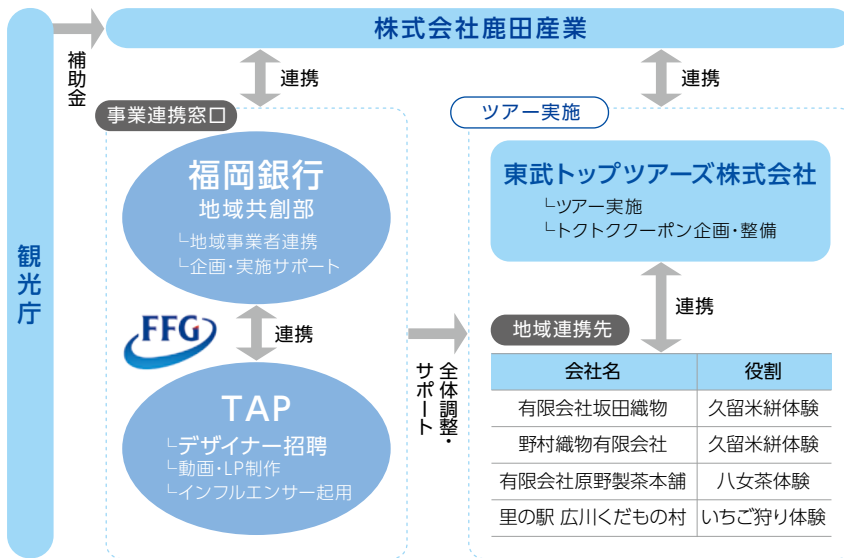
SHIKADA SHITSURAI SHOWROOM



すだれ編み体験



■事業スキーム図



た。参加者からは「詳しい製造工程や特徴が知れて新しいアイデアのきっかけとなった」「素材の可能性はリアルで見ないとわからないため、実際に見ることでできてよかった」といった声が挙げられました。

広川町周遊ツアーでは、伝統工芸の体験に加え、八女茶の抹茶体験やいちごの食べ比べが楽しめるいちご狩りなどを組み合わせ、広川町の魅力を知



久留米絨の工房見学



八女茶体験

ていただくツアー内容となりました。

各体験は、東武トップツアーズのクーポンサイト「トクトククーポン」(※2)で発信しており、今後はトクトククーポンへの企画事業者を増やすとともに、周遊クーポンの整備を行い、回遊施策に取組んでいく予定です。

今後もFFGは、お取引先の業績に貢献する取組(本業支援)や、地域の課題解決・活性化に繋がる取組を行ってまいります。

※1 LP: ランディングページ。商品やサービスの販売、資料請求、問い合わせなど、ユーザーに特定のアクションを促すために最適化されたページ。

※2 トクトククーポン: 旅先での割引や特典などが掲載されている国内旅行者向けクーポンサイト。

トクトククーポンはこちら



周遊ツアーの様子はこちら



福岡銀行 地域共創部 瓜生
【お問い合わせ】092-723-2254

FFGは地域が抱える課題解決や 地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の
取組事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア

 bank baton



地方創生に関するお悩みをご相談ください

- 観光振興
- まちづくり
- 産業振興
- エネルギー
- 教育文化芸術
- ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254



海外駐在員事務所が伝える

グローバルの今

FFGでは、独自のネットワークを活かしてお客さまの海外ビジネスを総合サポートしています。

今回、ホーチミン駐在員事務所の吉永所長に現地の情報やビジネスについて伺いました。

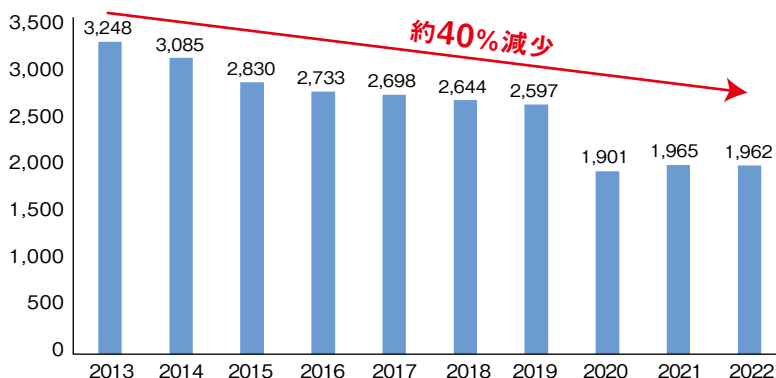
Question 1

現地の状況について
教えてください

A ベトナムにおいて、鋳物製造

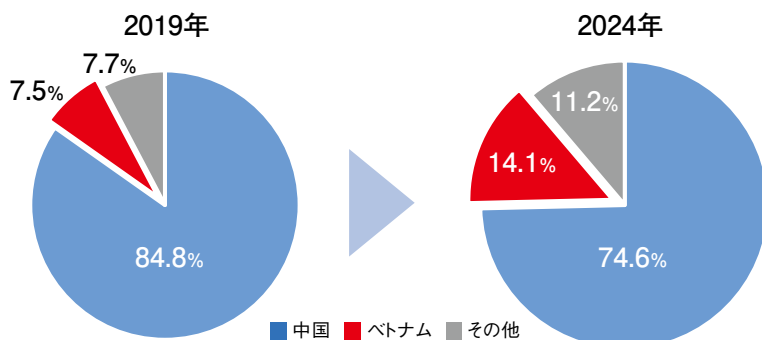
は古くから重要な産業の1つです。「鋳物」とは、作りたい形と同じ形の空洞部を持つ型に溶けた金属を流し込み、それを冷やして固める加工方法である鋳造にて作られたものであり、機械部品や

【資料1】日本の鋳物関連事業所数推移



出所：経済産業省「経済構造実態調査」より筆者作成

【資料2】日本の国別鋳物製品輸入金額割合



出所：財務省「貿易統計」より筆者作成

建築資材、日用品にまで幅広く活用されています。その歴史は古く、紀元前4000年頃にメソポタミア地方で始まったとされています。

私たちの住む世界に欠かせない鋳物ですが、日本では製造できる事業所数が年々減っており、2013年から2022年にかけて約40%も減少しています【資料1】。

Question 2

現地企業の声を
聞かせて下さい

A 現地の鋳物工場を営む企業に業界動向等の現地事情について、話を伺いました。

「現地企業の声」

ベトナムでは昔から鋳物産業自体が盛んであることに加え、日本で技能実習生として働き、帰国した人材のように、海外の企業で技術を学んだ経営者や技術者も

【資料1】。事業所減少の影響で、日本国内ではこれまでできていた製品の調達ができなくなるといった状況に直面しており、安定的に調達する方法の1つとして、海外からの輸入にも目が向けられています。日本の最大の鋳物輸入相手国は中国ですが、近年ではベトナムからの割合も増加しており、2019年から2024年にかけて全体に占める輸入金額の割合は7.5%から14.1%に増加しています【資料2】。

増えており、製品の品質レベルも高まっています。大型の鋳物製品を製造できる規模の大きな工場の数も増えてきました。大型の鋳物については、日本では対応できる工場が減っていると聞いており、日本企業からの受注も増えていきます。ベトナムで最も主流な製造プロセスは砂と粘土で鋳型を作る「砂型」ですが、石膏などを使った鋳型で精度を高めた「ロストワックス」や、金型に高圧注入することですらに高精度が期待できる「ダイカスト」での製造を行う工場も増えてきており、以前に比べて提供できる製品の種類が増えています。

課題としては、精密な製品になると品質がまだまだ追いついていないことや、原材料を中国等の海外から輸入していることが多いため、発注企業が期待するほど製品の価格メリットが出ないことです。

課題はあるものの、品質レベルは以前より向上しており、日本企業のニーズに対応できる工場も増えています。技術指導への期待

Question 3

駐在員事務所の活動事例を紹介して下さい

【A】 ホーチミン駐在員事務所では、ご相談の多い鋳物の他にも、日本の対ベトナム主要輸入品目である繊維品、日用品から大型のコンベアに使用する鉄骨のようなものまで、幅広い分野での製品調

【資料3】ベトナムの砂型鋳物工場の様子



も含めて、日本企業と仕事をしたいベトナムの経営者は多いため、ベトナムからの製品調達に興味があれば、ぜひお声掛けください。

【資料3】

Question 4

海外ビジネスを目指すお客さまへメッセージをお願いします

達サポートを行っており、昨年度は新たに27社の工場と具体的なコンタクトを取りました。チャイナプラスワンの候補として、ベトナムで調達先を探したいというご相談を数多くいただいております。工場のリストアップから商談の調整・アフターフォローまで対応させていただいております。

【A】 ベトナムでは「日本企業は一度取引が始まると長く取引が続く」との考えから日本企業との取引に意欲的な経営者が多く、商談の打診を行うと喜んで応じてくれるケースが大半です。取引を通じて日本企業からの技術指導があれば、今後、更なる成長も期待できます。ベトナムからの製品調達に興味がありましたら、ぜひ取引店の担当者にご相談ください。

【資料4】ダラット駅の様子



私の住むホーチミンから飛行機で1時間ほどの距離に、標高約1,500メートルの高原に位置するダラットという都市があります。年中真夏のホーチミンとは違い、気温も涼しく過ごしやすいです。高地の気候を利用したお花や野菜の栽培が盛んで、ホーチミンで売られている野菜はほとんどがダラット産です。私のお気に入りはダラット駅。駅周辺を花壇が囲んでいて雰囲気良く、ぶらりと散歩にもおすすめです【資料4】。

Take a Break



所長の
ちょっとひと息

現地のおすすめや
過ごし方を
ご紹介ください

「FFGブルーグルーパーズ」 2025年シーズン始動!



HP



Instagram



ふくおかフィナンシャルグループの公式ラグビー部「FFGブルーグルーパーズ」は、4月から新メンバーが加入し、新体制で本格始動します。今後はトレーニングや練習試合、合宿を行い、9月から始まる「トップキュウシュウリーグ」に向けてチームを強化していきます。

さらに今春から九州エリアで新しい大会が開催されることになりました。去年のトップキュウシュウリーグの上位4チーム、学生の上位4チームがトーナメントで激突し、九州No.1を決める大会「第1回 Kyushu Spring Championship 2025」です。試合はトーナメント方式で、5月から7月に行われます。会場は福岡県内各大学グラウンド・福岡県内競技場で観覧無料です。最新の試合情報は「FFGブルーグルーパーズ」公式インスタグラムでご確認ください。

今シーズンのチームスローガンは、「^{リンク}LINK」。チーム内での繋がりがプレー中の繋がりと以外に、これまで積み上げてきたものを繋げるという意味も込めています。地域の皆さまに愛され、感動を与えられるチームになることを目標に戦いますので、応援よろしくお願いします。

2025年新体制スタート

監督



くらかず みつひろ

倉員 光弘

福岡銀行 宇部支店 支店長
2005年入行

- 身長/体重：176cm/80kg
- 生年月日：1980年9月5日
- 出身校：
中村学園三陽高校→九州大学

メッセージ

いつも応援していただきありがとうございます。
今年はトップキュウシュウリーグを制覇します。

新キャプテン



おかもと まさみ

岡本 雅望

福岡銀行 本店営業部ユニット
2020年入行

- ポジション：FL(フランカー)
- 身長/体重：173cm/85kg
- 生年月日：1997年10月13日
- 出身校：
東筑高校→日本大学

メッセージ

トップキュウシュウリーグ優勝を目指して
プレーでチームを引っ張っていきます!

副将
FWリーダー



まつえだ かん き

松枝 歓喜

福岡銀行 北九州営業部ユニット
2021年入行

- ポジション：PR(プロップ)
- 身長/体重：177cm/100kg
- 生年月日：1998年8月4日
- 出身校：
九州国際大学付属高校→福岡大学

メッセージ

昨年に引き続き今年もFWリーダーをさせていただきます!仕事もラグビーもスクラムが命!

新副将
BKリーダー



のぐち だいすけ

野口 大介

福岡銀行 博多駅東支店ユニット
2024年入行

- ポジション：CTB(センター)
- 身長/体重：178cm/85kg
- 生年月日：2001年6月1日
- 出身校：
修猷館高校→同志社大学

メッセージ

トップキュウシュウリーグ優勝に向けて
チームに貢献できるよう頑張ります!

2025年度のFFG新入社員が新たにメンバーに加わりました!



しおつき ゆうしん

汐月 佑心

福岡銀行 直方支店ユニット

- ポジション：FL(フランカー)
- 身長/体重：172cm/90kg
- 生年月日：2003年3月28日
- 出身校：九州学院高校→東海大学

メッセージ

戦う銀行員として様々な分野でたくさん成長していきたいと思っています。



たなか かんた

田中 勘太

福岡銀行 伊田支店ユニット

- ポジション：CTB(センター)
- 身長/体重：172cm/80kg
- 生年月日：2002年12月24日
- 出身校：長崎北陽台高校→同志社大学

メッセージ

大好きなコンタクトプレーを楽しみます。



なか い しゅん

中井 駿

福岡銀行 有田支店ユニット

- ポジション：CTB(センター)
- 身長/体重：172cm/80kg
- 生年月日：2002年4月21日
- 出身校：大分舞鶴高校→法政大学

メッセージ

チームの勝利のために、練習でも、試合でも精一杯頑張りたいと思います。



はまさき ふみ や

濱崎 文哉

福岡銀行 折尾支店ユニット

- ポジション：FB(フルバック)
- 身長/体重：168cm/76kg
- 生年月日：2003年2月5日
- 出身校：東筑高校→立命館大学

メッセージ

持ち味を活かして勝利に貢献できるように全力で頑張ります!



なかしま ゆ い と

中島 佑維人

みんなの銀行

- ポジション：SH(スクラムハーフ)
- 身長/体重：173cm/75kg
- 生年月日：2002年6月7日
- 出身校：西南学院高校→日本大学

メッセージ

チームに貢献できるよう常に上を向いてプレーします!



はなだ りゅうき

花田 龍紀

FFG証券

- ポジション：LO(ロック)
- 身長/体重：185cm/90kg
- 生年月日：2002年9月10日
- 出身校：東海大福岡高校→関東学院大学

メッセージ

怪我を早く治して、チームに貢献できるよう頑張ります。

マネージャーも新加入! /



なかしま ゆ き み

中島 優紀美

福岡銀行 行橋支店ユニット
2020年入行



さかぐち な お こ

阪口 奈緒子

福岡銀行 本店営業部ユニット
2025年入行



私たちが
頑張ります!

◀マネージャーの皆さん。左から阪口さん、平野さん、中島さん、久家さん

4年のブランクを経て入部!



はたなか てる

畠中 輝

福岡銀行 飯塚支店ユニット
2021年入行

- ポジション：PR(プロップ)
- 身長/体重：178cm/90kg
- 生年月日：1998年7月19日
- 出身校：東福岡高校→同志社大学

メッセージ

社会人5年目でラグビーに再挑戦します。初心に戻り一生懸命頑張ります。

※プロフィールの所属は2025年5月現在

課題解決の鍵

FFGソリューション活用企業のご紹介

今回は、M&Aアドバイザリーサービスに特化した
FFG Successionとの連携による発展的M&Aを実現した
九州安芸重機運輸株式会社の菅康紀社長と菅克久専務にお話を伺いました。

伴走型の支援でM&Aが実現。 これからも業界を牽引する企業に。

—— 九州安芸重機運輸株式会社さま



お話を伺った方

代表取締役社長 菅康紀氏／取締役専務 菅克久氏
福岡銀行 雑餉隈支店(当時) 吉田支店長(現・本店営業部長)
FFG Succession アドバイザリー部 シニアマネージャー 大淵

企業ホームページは
こちら



抱えていた 課題

1970年に建設機械のレンタル事業として創業された九州安芸重機運輸株式会社さま。1975年以降はそのノウハウを活かした輸送事業にシフトし、九州各地に営業所を展開。業界を牽引されてきました。2011年に創業者である菅弘信さまより、ご子息の菅康紀さまに事業継承がなされ、現在も順調に事業規模を拡大しています。しかし、菅康紀社長は約10年前より今後の継承方針、また企業の成長戦略について、さまざまな可能性を探っておられました。

活用した ソリューション

営業店による継続的な「伴走型支援」を行い、想いを叶える発展的M&Aを実現

企業としての更なる成長を望みつつ、同族以外への事業継承を決意された社長さま。その想いを叶えるため、営業店による企業の抱える資本・経営課題の把握、課題解決に向けた継続的な「伴走型支援」を実施。ディスカッションを経て、社長さまの想いを叶える手段として、FFGの持つソリューション機能(M&Aアドバイザリーサービスに特化したFFG Succession)の活用を成長戦略とともにご提案。社長さまにも引き続き経営者として関与していただく形で、継続的な事業成長に向けた株式譲渡を実現しました。

効果

ファンドとの協働で、各営業所・部署・社員さまの目標値が明確になり、「地域に根差し、長く貢献し続ける企業」としての基盤がさらに強固なものになりました。
今期の売上目標は15億5,000万円に設定。



ここ数年は、企業の未来について

自問自答を繰り返していました

—— 菅康紀社長

創業家として、

「未来に続く企業」への

道筋を模索していました

事業内容

菅康紀社長…九州安芸重機運輸株式会社は、現在会長を務める父・菅弘信が、建設機械リース会社として1970年に創業した会社です。当時は九州道をはじめ、工業団地や住宅地、ダム、ゴルフ場などが次々と整備・建設された時期で、弊社も着実に事業を拡大することができました。その後、競合が増えたことから重機輸送に特化した事業へとシフトしますが、リース時代に培ったノウハウを活かしてこちらも順調に成長を続けています。「安全」「確実」「迅速」を第一に、現在は、福岡、大分、熊本、鹿児島、宮崎、都城の6カ所に拠点を置きながら九州全域への重機輸送を担っています。

抱える課題内容

菅康紀社長…私は2011年に父より事業を継承しました。自分なりの方向性が掴めるようになった3、4年目からは、中小企業の株価についても学び、ホールディングス化を考えたこともあります。しかしその時点では、事業継承についてまだ明確な答えが出ておらず、ホールディングス化は見送り、まずは会社を磨くことが先であると、健全な企業運営に力を注いできました。その後、同族内では事業継承を行わないという決断に至るのですが、すでに14、15億規模に成長しつつある弊社が、一生懸命働いてくれている社員と共に、今後どのような道を進めばさらなる成長を遂げられるのか、模索を続けていました。





自社で行なっていた決算の準備なども

担っていただけるようになりました

—— 菅克久専務

九州の地域発展に

大きく寄与されてきた企業さまに、
銀行が貢献できることを
考えました

― 課題解決に向けた取り組み

福岡銀行・吉田…九州安芸重機運輸株式会社さまと福岡銀行雑餉隈支店は、約20年に渡るお付き合いがあり、その時々で、組織再編やホールディングス化、株価対策などについて想いを聞かせていただきました。今回も、まずは事業継承の話から、最終的にはM&Aへと発展していきましたが、企業のオーナーさまにとって、株式を誰かの手に渡すということは一大事であり、非常にセンシティブなことです。だからこそ、私たちも時間をかけてヒアリングを行い、不安を解消しながら、従業員の皆さまの幸せにもつながる成長戦略のサポートをお約束しました。また菅社長は、会社・従業員の皆さまを第一に

考えておられます。だからこそ今後も経営者として継続関与を希望され、さらに従業員さま、同業者内、業界内での混乱をできるだけ抑えたいという気持ちを持たれていましたので、継続的なディスカッションを通じてご意向をしっかりと伺いしてまいりました。

福岡銀行・吉田…菅社長のご意向を実現するために、九州安芸重機運輸株式会社さまの成長戦略についてもお話ししました。私たちはお客さまに最も近い存在であるからこそ、ご意向を叶えるだけでなく、その先の成長も見据えた手段を提案したいと考えていました。その後、菅社長の中に、ファンドを使った成長戦略への興味が芽生えたことを感じ取り、FFGを含む九州の大手企業などが株主となっている福岡キャピタルパートナーズであれば、菅社長の想いを形にできるのではと考え、譲渡先の企業さまとしてご提案しました。そしてFFGの

ソリューション機能、M&Aアドバイザリーサービスに特化したFFG Succession^{サクセッション}に繋ぎました。関わっていた大淵さんは以前、福岡銀行雑餉隈支店のメンバーであり、FFG Successionに入社された後は、菅社長が「買い手」としてM&Aに興味を持たれた際にも打ち合わせに同行していただいていた。

FFG Succession・大淵…

吉田支店長から、菅社長の想いを含め、九州安芸重機運輸株式会社さまが第三者への株式譲渡を本格的に検討されていることを伺いし、訪問させていただきました。FFG Successionは、支店長からお聞きした社長の想いを改めてヒアリングし、経済条件のほか、当社のパーパス、事業上の強みや弱み、社長が思い描く成長戦略において譲受企業（ファンド）にどのような支援を期待しているか等、譲受企業とのディスカッションを



歴代担当者のリレーションがあってこそ

事例だと思います

—— 福岡銀行 吉田

積み重ねてまいりました。その結果、最終的に当社の継続的な成長を実現するためのパートナーとして譲渡を菅社長に決断いただき、株式譲渡が実現する運びとなりました。

着実に成長し続ける

企業の土台が固まったところ

― 導入後の声

菅康紀社長…2024年10月に株式譲渡を行った後は、新株主である福岡キャピタルパートナーズさんにもご同行いただきながら各支店を回り、M&Aについて不安を感じる社員に向けてしっかりと説明を行いました。またファンドさまと共に、社員の配属や新規採用などの人事、トラックの配置の仕方、数など、幅広い分野について話し合いを進め、それらを積み上げて来年度の計画を立てているところです。福岡キャピタルパートナーズさんは何事にもしっかりと数字で提示

してくれるので、この5カ月でも社員の数字に対する意識は変わってきたように思います。今後はそうした数字を業務の効率化や人事評価に活かし、企業のさらなる成長にも繋げていきたいと思っています。

菅克久専務…ファンドさまとの協働が始まって意外だったのは、例えば中長期計画などでもいきなり高い数字を掲げるのではなく、非常に堅実であること。本当に長く会社を続けていくために、会社にとっても社員にとっても無理のない目標設定は、今後のモチベーションアップにも繋がるのではないかと期待しています。また株式譲渡以来、税理士の方をはじめ、企業運営に欠かせない専門家の方も次々とご紹介いただき、ありがたく思っています。新たなソフトの導入など、不安に感じることもありましたが、それらも今後の成長への第一歩であると考え、社員と共にチャレンジしていきたいと思っています。

九州同士だからこそ

分かり合える空気感が、

成功の鍵だったように思います

― 提案を振り返って

FFG Succession・大淵…

我々FFG Successionは悩めるオーナーさまに寄り添い、企業の成長を支援するために適切な資本構成を含む成長戦略を提案し、M&Aを通じて事業とオーナーさまの想いを未来へつなぐお手伝いをしています。今回は、九州安芸重機運輸株式会社さまへそのサポートができたことを大変嬉しく思います。しかし、M&Aのゴールは成立することだけではなく、その先にあると考えています。九州安芸重機運輸株式会社さまは、すでにさまざまな改革を進めておられ、そのダイナミックな動きを間近で見られることは、私にとって非常に意義深い経験です。今後引き続きM&Aを通じて関わらせて



最善のパートナーをご紹介できました

— FFG Succession 大淵

いただく予定です。その際には、相手企業との間にしっかりと立ち、思いを伝え合えるM&Aを実現し、お客さまの未来をつなぐお手伝いができればと考えています。

福岡銀行・吉田… 菅社長は以前から、九州最大の重機運輸企業のトップとして、業界をリードし、業界の困りごとを率先して片付け、業界に問題提起するのも自分の仕事である、ということをおっしゃっていました。それらを叶えるために企業の成長戦略は不可避であり、そのために社長自身が様々な可能性を逡巡していたことを本日のお話でも改めて知ることができました。今回、満足いただける良い結果となった要因は菅社長と対話を重ね、その想いをFFG全体でしっかりと受け止めて社長とともに進められたことだと思っています。対話を重ね、真摯にお持ちの課題やお悩みに寄り添っていく「伴走型支援」の重要性を再認識しました。今後も引き

続きお客さまにとって一番身近な存在として、お客さまの抱える課題解決のために尽力してまいります。

菅康紀社長… M&Aのような大きな事柄において、私が重要だと感じたのは、地元同士だからこそ分り合える共通言語、空気感です。今回、福岡銀行さん、FFG Successionさん、福岡キャピタルパートナーズさんと、FFGにゆかりのある皆さまの協力をいただきました。これも長いお付き合いの賜物で、全ての会社を知ったお顔があったことも心強かったです。だからこそ、お互いが考えていることを理解し、円滑にM&Aを進めることができたと思っています。私は今回のタイミングこそ、必然だったと考えます。福岡銀行さんをはじめ、ふくおかフィナンシャルグループの皆さまとは、これからも良い関係を築けていけたらと思っています。

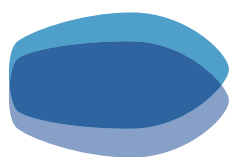
※本記事の内容は2025年2月時点の情報です

今回ご紹介した事例のように
FFGのソリューションを導入し、課題解決した
事例を「BIZSHIP」に多数掲載しています。
「BIZSHIP」は事業者さまの業務効率化や
事業成長を支援するサービスです。
ご利用はすべて無料。ぜひお申込みください!

詳細は左ページをご覧ください。



法人・個人事業主のお客さまへご案内



BIZSHIP

利用料
無料

ビジネスを加速させる2つのサポート

01 業務効率化 来店不要で手間いらず！

入出金が手元でわかる デジタル通帳

取引口座をまとめてPC・スマートフォンで確認。

気になる入出金をメールで素早く把握。



手軽に書類発行できる オンライン手続

銀行へ渡す書類をオンラインで簡単提出。

残高証明書、手数料取引明細(インボイス)を0円でいつでも取得。



02 事業成長 診断で成長を応援！

自社課題がクリアになる 経営診断

財務情報から自社の課題や解決策まで確認。

人事や労務、デジタル化など気になる分野も幅広く分析。



活用可能な制度が見つかる 補助金・助成金診断

かんたんな質問に答えるだけで自社に見合った制度を確認。

制度内容の相談から申請サポートまで支援。



お問い合わせ

BIZSHIP事務局



0120 - 000 - 727

[受付時間] 平日 9:00~17:00 但し、銀行休業日は除きます。

詳しくはホームページ、BIZSHIP事務局、またはお近くの福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行の支店にお問い合わせください。

ビズシップ

検索



支店長が聞く!

企業GUIDE

日々お客さまと接する支店長が
キラリと光る企業を紹介する
コーナーです。

vol.
03

「交流文化創造拠点 **HiRaKu**」を開設。
地域、人、そして文化を結んで開き
新たな街づくりの可能性を探る。

株式会社 福住
ふくじゅう

代表取締役社長

かわの たかお
河野 孝雄 氏

取引店／福岡銀行 天神町支店



福岡市中央区天神に本社を持つ株式会社 福住。総合不動産業として福岡市を中心に不動産事業を展開することはもちろんのこと、天神という地に密着し、地域の発展にも積極的に貢献されてきました。2024年1月には、新天町の一角にポップアップ型ショールーム「交流文化創造拠点 **HiRaKu**」を開設。九州各地のプロモーションイベントなどを積極的に開催し、好評を博しています。なぜ、地域発展の事業に取り組んできたのか、そして新しい時代に向けてどのような街づくり、人づくりを進めようとするのか、河野孝雄社長にお話を伺いました。



新天町の「交流文化創造拠点 HiRaKu」前。左から河野社長、山内支店長(福岡銀行)

―2025年5月で創立50周年を迎えられます。

おかげさまで1975年に設立し、福岡市中央区天神に本社ビルを構えて26年になります。地元に着した不動産会社として、仕事をして参りました。

―新天町に2024年1月にポップアップ型ショールーム「交流文化創造拠点 HiRaKu」を開設されています。その経緯を教えてください。

もともと私たちは連携しているコミュニティラジオ天神FM(株式会社コミュニティメディアパートナーズ 福岡代表取締役社長…かねやまとしはる金山利治氏、福岡市中央区)、通称「コミてん」に併設されているカフェのイベントスペースにて、コミてんと一緒になって、販売促進や観光などの地域振興のイベントを行っていました。

コミてんは、地元密着型のコミュニティFM放送局として2013年1月に開局し、番組には地元の方をはじめ九州各地のさまざまな方にご出演いただいています。例えば大分県福岡事務所に番組を持っていたにいたった時に、天神に大分県の情報を発信する拠点をつくりたいということで、大分県が運営するリアル店舗のオープンにつながった事例もあります。また、イベントの交流会を通じて、参加者同士がつながりビジネスが生まれたといったこともありました。



「HiRaKu」2階スペースは2面スクリーンで大迫力の画面が楽しめる



「HiRaKu」1階にはスマレジや可動式棚、モニター、テーブル、キッチンなどが設置

「以前から地域交流が盛んに行われていたんですね。そこから「HiRaKu」はどのようにつながっていくのでしょうか。」

2022年の11月に、福岡商工会議所の理財部会で東京へ視察に行ったのですが、その時の最後の視察先が日本有数のレストラン・結婚式場で知られる株式会社八芳園（代表取締役社長…井上義則氏、東京都港区）でした。そこで井上社長にご挨拶させていただいたのですが、後日改めてお会いして様々お話しをお聞きしますと、八芳園ではプライダル事業とともに、企業・自治体・学校などと連携し持続可能な未来をつくるという総合プロデュース企業への転換を図られているとのことでした。行政のポップアップイベントを受託運営する事業に取り組んでおられ、港区白金ではポップアップ型ショールーム「MuSuBu」を開設、国内各地の地域交流のイベントなどを展開されていました。実際に現地にお伺いして話を聞きましたが、この事業はまさにコミてんで行っている地域交流事業と同じ考え方で事業展開されていたのです。

そこで井上社長が来福された際に、「コミてんにお招き様々なディスカッションをしましたが、コミてんの実績にも大変ご共感いただき、その結果「連携協定を結びませんか」と、井上社長からご提案をいただきました。そのご提案から八芳園の「MuSuBu」の名称とつなげて「結んだものを開こう」と「HiRaKu」

の発想が生まれたのです。福岡で有名なカジワラブランドデザイン株式会社の梶原道生先生にネーミングしてもらい、ロゴも作成いただきました。

「結んだものを開こう」という発想が面白いですね。連携協定は八芳園の井上社長からのご提案だったのは驚きました。

2023年7月12日、八芳園とインバウンド誘致等に向けて相互の連携を強化することを定めたパートナーシップ協定を正式に締結しました。これは、「コミてん」の情報発信力と「八芳園」のコンテンツプロデュース力を組み合わせ、協働で交流文化創造拠点の創出や地域資源の販路拡大に取り組み、地域活性化やインバウンド増加を目指すものです。その第一弾として、同年7月19日から「MuSuBu」とコミてんカフェにて福島の桃を活用したポップアップイベントも開催しました。



河野社長



「交流文化創造拠点 Hiraku」で過去に開催されたイベント

―そのコミてんカフェが發展したのが「Hiraku」になるのですね。

はい。コミてんカフェがあったのはビルの2階で、通りすがりの方は入ってこられません。開催している地域交流イベントには、もっと多くの方に参加していただきたいという気持ちがありましたので、この機会に外に打つて出ようと社内にて協議しまして、天神の中心地でありアーケード街でもある新天町に出すことを決めました。

―オープニングイベントは大盛況だったとお伺いしています。

2024年1月25日から3日間、これまでコミてんカフェでも交流があった、福岡県田川郡香春町観光協会、熊本県球磨焼酎、長崎県松浦市観光協会、鹿児島県日置市のコラボによる「食・伝統・文化」をテーマにしたイベントを行いました。物販のほかに日置市の甲冑着衣体験などユニークな体験プログラムも用意。出店された4つの自治体同士のコミュニケーションの場にもなりました。

「Hiraku」では現在イベント開催が中心になっていますが、今後はカフェの常設を検討しています。常設のカフェをつくることで、交流拠点としての機能を更に上げていきたいと思っています。

そして元のコミてんカフェのスペースには、株式会社八芳園エリアプロデュース警固の「VEGETABLE LIFE CAFE by THE KEGO CLUB」がオープンしており、こちらでも交流イベントなどが開催される予定です。今後も連携協定のもと、「結んで開く」のつながりでさまざまなコラボをしたいと考えています。

―地域に貢献したいという思いはどこから生まれたのでしょうか。

福岡の強みは大手やフランチャイズのお店と、新天町のような商店街や、个性的かつ魅力的な「個店」がたくさん存在し、共存していることだと感じています。しかし、何も発信しなければ、その「個店」は後継者が現れずになくなってしまいう可能性もあります。感度の高い方々が集まる魅力的な都市福岡において、九州各地の個性的なお店がその魅力を発信する機会をつくりたい。そして、私たちがデータ分析やマーケティングを担い、店舗の出店や事務所開設といった不動産関連のお手伝いができることで、さらに福岡、九州そのものの発展につながるのではないかと考えています。収益に結びつくには、相当な時間も労力もかかりますが、弊社は地元で育てていただきましたので、手探りではありますが、このような取り組みもありかなと思っています。

株式会社 福住
代表取締役社長
河野 孝雄 氏

Profile

福岡市出身、1973年1月10日生まれ。福岡大学卒業後、東京都内の不動産会社勤務を経て、1999年、株式会社 福住に転じる。2005年専務取締役、2010年代表取締役社長就任。趣味はゴルフ・旅行。



「福岡市は天神ビッグバンのもと、不動産事業も活況を帯びています。そのような中で、福住では歴史ある建物の再生プロジェクトを進められています。」

私たちがリノベーション事業に着手したのは、2016年にリフォーム会社の株式会社アシストが福住グループに入ったことから始まります。発展し続ける福岡ですが、古い物件も増えており、建築コストも上昇していますので、新築だけではなく、建物のリノベーションにも注力していくべきと考えておりました。

そこで生まれたのが「ビルの歴史継承」をキーワードにした再生プロジェクトです。実際の事例となったプロジェクトのひとつが、福岡市中央区今泉の国体道路沿いにあるクリニック跡のビルです。ビルのオーナー様からの「小さくとも品があり凛とした存在感を残したい」というご希望のもと、1階は白色、2階3階は茶色をベースカラーにした上質なテナントビルに再生することができました。再生というと格好はいいですが、改修工事はしたけど借り手がいらないというふうなことになるようにしなければなりません。弊社では、エリアの家賃相場はもちろん、土地の価格の推移なども含む、実際の不動産マーケットを熟知しておりますので、単なる改修工事ではなく、築年数、投資額、得られる家賃の見込みなど総合的にご提案できることが強みだと思っています。



EAST OFFICE(本社)見学風景



EAST OFFICE(本社)での対談風景

株式会社 福住

■設 立：1975年

■本社所在地：福岡市中央区天神

■資 本 金：1,000万円

■従 業 員：83名(グループ全体:104名)2025年4月現在

■事 業 内 容：【総合不動産業】

不動産売買仲介、賃貸仲介、賃貸管理、テナント・オフィス賃貸仲介、
コインパーキング事業、自社開発事業、相続対策、生命保険事業、
土地の有効活用、リノベーション事業、不動産鑑定評価 他



EAST OFFICE



WEST OFFICE



福 住

HiRaKu



聞いた人



福岡銀行
執行役員天神町支店長

山内 徳一

地方創生を考えた時に、中核となる企業が存在しなければ成り立ちません。その中であって、天神の中心にありこの街の発展に貢献されている企業であることを改めて実感いたしました。九州各地の販売促進や観光プロモーションによって人が集まり、新しいお店や拠点のための不動産の動きにつながり、さらに雇用なども生まれるといった循環ができれば、それがまた地域の活性化につながると感じました。

2024年1月に誕生した「HiRaKu」のイベントは大変盛況です。今後はカフェが常設されることで新天町の新しい顔になるのではないのでしょうか。また、八芳園様との連携協定で新しいイベントや話題が生まれると思います。総合不動産業の枠にとらわれず、新しい発想でさらに天神、福岡市、そして九州全体の発展に貢献されることを期待しています。本日は貴重なお時間をありがとうございました。

「新しいチャレンジは企業主導型保育園の開園など、福利厚生においても見られますね。」

待機児童問題が社会で取り上げられていた2018年4月に本社ビル2階に企業主導型保育園「ふくふく西通り保育園」を開園しました。連携企業様からの受け入れも積極的に行っています。福岡銀行高宮支店さんでも同じビル内に企業内保育園をつくられた時期だったと思います。福岡銀行さんともお互いに入園できるように、提携企業として登録させていただいています。2015年からは「婦人科検診費用の補助」、2016年からは「社員福利厚生保険」も導入しました。これは、会社の費用で

医療保険を全社員にかけるものであり、就労時間外でも適用されます。また、退職時には保険を買い取って名義変更することも可能というルールにしました。これらの方策が認められ、2024年には「健康経営優良法人」の認定を受けました。この認定は毎年更新が必要で、2025年も継続して認定されています。このような社員の働く環境を整えることは、社員が自ら考えて行動できる集団であるための土台づくりだと考えています。私たちのミッションは「世の中に安心と喜びをお届けすることです。」「お客さまが何を求めているのか」を常に考え、「困った時には福住に相談しよう」と思っていただけのような頼られる存在になるよう努めてまいります。

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいたお客さまのサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する法人〉

抱樸グループ

ほうぼく

理事長

おくだ

ともし

奥田 知志氏

取引店／福岡銀行 北九州営業部

「ひとりにしない」という支援
北九州市からホームレスをなくし、
ホームレスを生まない社会を目指す

抱樸は1988年に発足した北九州日雇越冬委員会が活動の起源となります。数名のボランティアとともにホームレスへの炊き出しやパトロール活動を開始しました。その後ホームレスや生活困窮者への支援活動の規模を拡大し、現在では29もの事業活動を行っています。

活動を開始した当初は「ひとりの路上死も出さない」ことを使命としていました。炊き出しやパトロールを行って人々の命を守る活動を行っているうち、「畳の上で死にたい」という声が届くようになりま

した。そんな声に応え「一日も早い路上からの脱出」を第二の使命として自立支援活動が始まりました。抱樸は「経済的困窮」と「社会的孤立」を「人の生きづらさ」と考えています。ハウス（家）は確保できてもホーム（つながり）がないままでは自立にならない。「この人には『何が』必要か」と「この人には『誰が』必要か」。この二つの問いを同時に解消する仕組みをつくり、人々を「ひとりにしない」という支援を行う。それが抱樸です。

希望のまちプロジェクトを始動
新たに救護施設を開設

抱樸では2020年4月に、北九州市の暴力団



「希望のまち」イメージ

本部跡地を取得し救護施設として活用する「希望のまちプロジェクト」を開始しました。北九州市の「怖いまち」というイメージをなくし、地域に暮らす様々な人々がその人らしく生きるために、抱樸が「居場所」と「出番」を提供し、地域共生社会のモデルとして「希望のまち」を目指しています。2026年夏に開所予定となっています。

施設では1階にコミュニティスペースやカフェ、ブックシェルフ・コワーキングスペースなどを設置して、居住者と地域住民が交流できる地域一体型の救護施設を目指しており、また支援物資を備蓄して、災害時には施設を開放して地域住民の避難所としての役割も果たします。

本プロジェクトには土地の取得や施設の建設に多額の資金が必要となるため、抱樸では個人や企業から幅広く寄付を募って資金を調達し、プロジェクトの実現に至っています。

まちが子どもを育て、 親を孤立させないまちづくり

人口減少、少子化、高齢化が日本の課題となっていますが、「単身化」が急速に進んでいるのも重要な現実です。全世帯の約4割が単身世帯となっています。日本人は諸外国に比べても「身内」に対する期待が大きいといわれています。家族に力があればいいのですが、単身化が進むとその肝心な家族がいらない、ということになります。

既に男性の3割は生涯未婚です。社会保障などの制度は「家族がいる前提」で構築されていることもあり、今後どれほど良い制度があっても

「利用できない」人が増えるのは確実です。

抱樸が取り組む「希望のまち」は身寄りのない単身者も安心して暮らせるまちを目指します。まちを

「大きな家族」

「なんちゃって家族」にします。

子育てにおいても「まちが子どもを育てる」ことを目指し、親

を孤立させないまちづくりを目指します。

抱樸の歩みは続きます。

「断らない」と、なによりも「ひとりにしない」ことを目指し、今後も活動

していきます。思います。



(FFG) ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の証、記念楯を贈呈
(左から森松専務理事、水口部長、福岡銀行 五島頭取、奥田理事長、石井常務、福岡銀行 北九州営業部 岸原部長)

抱樸グループ

■認定特定非営利活動法人 抱樸

相談事業、困窮者・ホームレス支援事業、子ども・家族支援事業、高齢福祉事業、居住支援事業、就労支援事業、更生支援事業、障害福祉事業、地域共生社会創造事業、政策提言・周知活動
〒805-0015 北九州市八幡東区荒生田2丁目1-32 TEL.093-653-0779

■社会福祉法人 抱樸

救護施設事業、放課後等デイサービス事業 など
〒805-0015 北九州市八幡東区荒生田2丁目1-32 TEL.093-616-2840



FFGでは企業のESG/SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
ソリューション事業本部 インダストリーカバレッジグループ
■お問い合わせ: TEL.092-723-2525

サステナビリティに
関することは何でも
ご相談ください

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

佐世保港湾運輸

株式会社

代表取締役社長

村上 徳正 氏

取引店／十八親和銀行 佐世保本店営業部

佐世保港湾での荷役を担い

一貫した物流サービスを提供

当社は戦時中である1942年に、当時の日本海軍の要請により佐世保港の荷役を担う会社として設立されました。戦後も引き続き佐世保港内において荷役一貫業務を行ってまいりました。

当社の売上は港湾運送および海上輸送による売上がほとんどを占めます。業務として船舶代理店業務や通関業務、船用品の供給や土木建設なども行いますが、これらは主業務である港湾運送を補完し、取引先の利便性の向上を目的としたものです。このような付随した業務も自ら行うことで取引先に対し一貫した物流サービス

を提供することが可能となっています。

カーボンニュートラルポートの

形成を推進、佐世保港湾

脱炭素化推進計画に参画

佐世保港の管理者である佐世保市は、港における脱炭素化を目指すカーボンニュートラルポートの形成を推進するため佐世保港湾脱炭素化推進協議会を発足し、2024年3月に計画を策定しました。対象範囲を佐世保港のターミナルと、ターミナルを経由して行われる物流活動と定め、佐世保市と佐世保港に事業所を置く11社が方針や施策をまとめています。

計画の中で佐世保市は佐世保港で排出される温暖化ガス（計画では二酸化炭素のみ）の排出量を2050年までに実質ゼロにすることを目標としています。

当社も低炭素型車両・荷役機械の導入などにより、微力ながら目標の達成に向け貢献していきたいと思っています。



佐世保港全景

安全で働きやすい職場づくり 社内のデジタル化を推進

当社の作業現場は鋼材や石炭、各種プラントなどの重量物を取り扱うため、相当な危険を伴います。そのため当社は従業員の安全を守ることを最優先に考えています。

また国内のあらゆる業種で人手不足が叫ばれる中、当社も人材を確保することを労働安全と等しく重要視しています。社員の安全を守りながら、デジタル化による業務効率化を行い、働きやすい魅力ある職場環境を整える取り組みをいくつも行っています。

長崎県や佐世保市においても、人口減少により人手不足は今後さらに増していくと思われます。そのような状況下でも、佐世保港湾運輸を人々から選ばれる会社・職場にしていきたいと思っています。

佐世保を代表する物流企業として 地域とともに発展していく

2019年から当社が目指すべき将来像を検討すべく、「ビジョン会議」を社内で行い、その中で

経営姿勢として「人が大事」「お客様が大事」「地域が大事」「株主が大事」の4つの大事を掲げました。また目標ビジョンとして「佐世保のみなどのグッドカンパニー」を掲げ、3つの目標（経営体力の向上、品質管理の向上、企業品格の醸成）を定め、6つの施策を展開しています。当社はその施策を行いながら事業基盤を強固なものにしていき、地元経済の活性化に貢献していきます。



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の証、記念楯を贈呈
(右から村上社長、十八親和銀行 佐世保本店営業部 浦部長)

佐世保港湾運輸 株式会社

■本社所在地：〒857-0877 長崎県佐世保市万津町7番47号

■電話番号：0956-24-5141

■事業内容：一般港湾運送事業、港湾荷役事業、はしけ運送事業、通関業、船舶代理店業 他

■関連会社：西海海陸運輸株式会社、新東陸運株式会社、西日本鋼業株式会社、松島港湾運輸株式会社



FFGでは企業のESG/SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
ソリューション事業本部 インダストリーカバレッジグループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2525

サステナビリティに
関することは何でも
ご相談ください

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

にしにほんこうぎよう

西日本鋼業 株式会社

代表取締役社長

にしやまひろし

西山 寛氏

取引店／十八親和銀行 佐世保本店営業部

全国でも珍しい伸鉄メーカー
鉄筋加工の技術を活かし、住宅基礎
ユニット鉄筋の加工・販売にも注力

当社は、製鉄所や造船所などで発生する鋼板や端材を貴重な資源と捉え、熱間圧延という独自の製造プロセスを通じて棒鋼（鉄筋）を製造する伸鉄メーカーです。この事業活動は、限りある資源の有効活用という観点から持続可能な社会の実現に貢献するものです。特に、電気炉メーカーが製鋼と圧延の二つの工程を経るのに対し、当社は製鋼工程を省略し（鉄を溶かさない）、熱間圧延のみで製造するため、燃料消費量と二酸化炭素排出量を大幅に削減できる点が特筆されます。



熱間圧延による鉄筋製造

また鉄筋を製造する傍ら、鉄筋加工も得意としています。有害鳥獣対策の防護柵支柱や港湾土木等の鉄筋加工など、様々な用途に用いる鉄筋を加工・販売しており、中でも住宅基礎ユニット鉄筋の加工・販売に注力しています。

住宅建築の基礎工事においては、従来、建築現場で鉄筋を切断・曲げ加工し組み上げる（手組み）

作業に、多くの時間と労力が費やされてきました。こうした背景を踏まえ、当社は住宅基礎用の鉄筋を工場加工（切断・溶接・曲げ加工）し、ユニット鉄筋としてハウスメーカーや基礎業者へ提供しています。工場から直接建築現場へ持ち込まれるユニット鉄筋は、工期短縮、省人化、そして品質の安定化に貢献しています。

ISO9001 認証・
JIS 規格認証を取得
品質管理を徹底

電気炉メーカーで製造される鉄筋と比較して、伸鉄メーカーの鉄筋は品質面で劣るというイメージが一部に存在しています。しかし、当社では、徹底した品質管理体制を構築し、電気炉



住宅基礎ユニット鉄筋の加工

メーカーの製品と遜色のない品質を確保しています。その証として、品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001の認証を取得し、日本の工業規格であるJIS規格の認証を得た製品を製造・販売しています。

当社は品質マネジメントシステムをもとに自社製品の品質管理を体系化しており、製品の品質の均一化を図るとともに、今後さらなる品質の維持・向上を目指しています。なお、当社で製造しているJIS規格製品はすべて「ながさき県内生産品」に登録、公共工事に使用されています。

大牟田工場を新設 九州中部での営業を強化

現在当社が加工・販売する住宅基礎ユニット鉄筋は、長崎県ですでに当社の製品が市場の6割を占めています。今後さらに営業基盤を強化・拡大するため、2024年7月、福岡県大牟田市に加工工場を新設しました。

本工場の稼働により、九州中部における製品出荷のリードタイムが短縮できます。福岡県南部や熊本県の地場業者との連携も強化し、当社の事業基盤をさらに強固にしていきたいと考えています。

佐世保の地から全国へ貢献できる 加工型製造メーカーを目指す

1948年、全国的な戦後復興の機運が高まる中、伸鉄業の創業再開を背景に地元の財界の皆様からの支援により当社は設立されました。社名に冠した「西日本」には、創業時の想いが込められています。その想いを胸に、当社は「西日本」の名に恥じぬよう、より一層の発展を目指し、地元佐世保の地から、地域経済そして全国経済の発展に貢献できる加工型製造メーカーを目指して参ります。



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の証、記念楯を贈呈
(右から西山社長、十八親和銀行 佐世保本店営業部 浦部長)

西日本鋼業 株式会社

■本社所在地：〒857-0852 長崎県佐世保市干尽町4番地の8

■電話番号：0956-31-4334

■事業内容：●建設用棒鋼の製造

●住宅基礎ユニット鉄筋、有害鳥獣対策防護柵資材、港湾土木資材などの鉄筋加工品
およびホームセンター向け加工製品の販売

■関連会社：佐世保港湾運輸株式会社、西海海陸運輸株式会社、新東陸運株式会社、松島港湾運輸株式会社



FFGでは企業のESG/SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
ソリューション事業本部 インダストリーカバレッジグループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2525

サステナビリティに
関することは何でも
ご相談ください

懐かしい
情景を
探して

Looking for a nostalgic scene

風ニモマケズ、 雨ニモマケズ



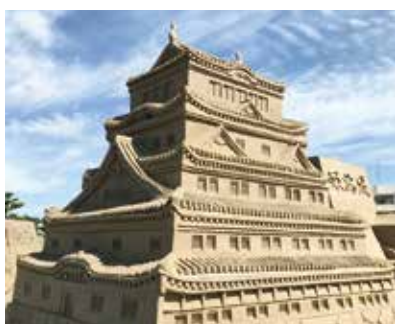
▲吹上浜(入来浜)



▲入来浜入り口



▲砂の祭典 2024年作品一部



▲南さつま市役所

●南さつま市役所

住所：鹿児島県南さつま市
加世田川畑2648



薩摩半島西岸には東シナ海に面した吹上浜(※1)が横たわる。ここは毎年恒例の「砂の祭典」(※2)が有名だ。新型コロナ等で中止の年もあったが、昨年は5月に南さつま市役所の広場やその周辺で開催された。彫像は毎年力作揃いのうえ環境に配慮したイベントなのがなんとも嬉しい。大量の砂を運び、天候に左右されながらの根気のいる作業を、長年続けてこられたことに頭が下がる。

そういえば砂浜と砂丘の違いを知ったのも吹上浜だった。厚く砂が堆積した砂丘と森のような防風林が続く海岸線は、そのあまりの広大さに度肝を抜かれた。海岸にリゾートホテルはなく釣り人の姿もまばらに見えるぐらいで、今も昔と変わらない風景が残っている。

(※1) 吹上浜：1953年に鹿児島県立自然公園に指定、いちき串木野市から南さつま市に至る南北47km

(※2) 砂の祭典：1987年から開催。期間中、風雨から砂像を守るため表面のみコーティングされる。今年も5月連休にスタートし、月末まで展示予定

(文・阿井川 圭)



熊本大同青果の社員たちでロックバンドを結成！



熊本県内最大の青果卸売市場として、熊本の

“食”を支え続ける熊本大同青果株式会社。

2022年4月、学生時代にバンド活動をしていた月

田潔孝社長の呼びかけで、音楽好きの社員たちが集

まり、ロックバンド「ベジフル・マシンガンズ」を結成した。

ギター担当は月田社長。「自分たちが楽しむのもち

ろん、みんなを楽しませたい」と、年1回開く生産者向

けの感謝祭で演奏を披露する。

今年に入り、バンド活動が地元メディアで取り上げら

れたのをきっかけに、イベントの出演オファーが相次いでい

る。「本当は海外ロックが好きですが、イベントで演奏する

時は、みんなに喜んでもらえる昭和歌謡曲が中心です」

同社では元々、クラブ活動や委員会、社内行事な

ど、社員間コミュニケーションが盛んだ。「仕事以外の付

き合いによって、会社や部署、年齢、性別、役職の垣根

を越えたつながりが生まれます。社員同士が自由に交

流することで、家族のような結束感が育まれ、それが

組織風土になります」

バンドメンバーも年齢層や役職など様々だが和気

藹々としている。

「最年少メンバーは昨年入社した山崎さんで、『学生時

代ギターをしていたので入れてください』と自ら売り込

んできました」

合同練習は月に数回行われ、それ以外は個人練習

になる。「メンバーの西濱さんは五十の手習いでドラムを

始めましたが、その成長ぶりには驚かされます。私自身

もギター教室に通い、技術を磨いています」

2024年4月には、バンド初のシングルCD「青雲

の志」を自主制作し、生産者などに配布した。「曲名

の「青雲の志」は私の座右の銘です。行く手に何層も

の雲が立ちほだかつて、その先にある青空を目指し

て、常に上昇していきたい」

2025年にも新しいシングルCDをリリース予定。

大人になった今も「青春」真つ只中だ。

会社概要

くまもと どうせい か
熊本大同青果株式会社

創業・設立 1961年

所在地 熊本市西区

資本金 3,000万円

従業員 397名（関連会社、アルバ
イトパート含む）

【2025年4月現在】

事業内容 卸売市場の運営（青果物
の仲卸・卸売）、乾燥野菜
製造・販売、リース業

グループ
企業 熊本大同ホールディングス
株式会社、株式会社大同
リース、株式会社HOSHIKO
Links、熊本大同フーズ株
式会社

取引店 熊本銀行田崎支店

会社ホームページ



「ベジフル・マシンガンズ」メンバー紹介



Drums

熊本大同ホールディングス(株)
総務部 システム室長
にし はま りゅう いち
西濱 龍一 氏

Rhythm Guitar

熊本大同青果(株)
国産果実部
やま さき もと き
山崎 元暉 氏

Guitar

熊本大同青果(株)
(株)大同リース
代表取締役社長
つき だ きよ たか
月田 潔孝 氏

Vocal

熊本大同青果(株)
国産果実部 課長代理
つ だ かず ゆき
津田 和幸 氏

Bass

熊本大同ホールディングス(株)
品質管理室 主任
く とう み ゆき
工藤 美由紀 氏

Vocal / Chorus

熊本大同青果(株)
青果センター
まつ もと
松本 かほる 氏

青雲の志

作詞：津田和幸

作曲：月田潔孝

編曲：ベジフル・マシンガンズ

あがいてもがいて

抗っていた毎日も

強がって挑んで

打ちのめされても上等と

俺はまだまだイケるつもり

負けはさらさら考えてもない

何度だって青春のやり直し

いつだって青雲の志

ららら ららら

Vegefru 
Machineguns  
ベジフル・マシンガンズ

妬んで僻んで

羨ましがるのは不毛と

イキがって尖って

恥を重ねても成長と

俺はしぶとく生きるつもり

欲はますます膨らむ気配

今だって青春とお友達

いつだって青雲の志

ららら ららら

探して探して

ホントの自分の魂を

磨いて磨いて

目指している場所に

辿り着けるまで

ららら ららら





日本100名城
No.13

シルエット美 1 しらかわこみねじょう 白河小峰城

【住所】福島県白河市郭内
【電話】0248-22-1147
(白河観光物産協会)



白河小峰城HP

2020年11月登城。奥州と関東を結ぶ重要な地であり、戊辰戦争激戦地として有名。青い晴天と白黒の三重櫓とのコントラストが美しく(写真①)、高石垣の上にそびえ立つ姿は威風堂々(写真②)。シルエットが美しく、松本城に次いで大好きな城郭の一つ。



②

日本100名城
No.2



③

まるでヨーロッパ城郭 2 ごりょうかく 五稜郭

【住所】北海道函館市五稜郭町44
【電話】0138-21-3456
(函館市教育委員会生涯学習部文化財課)

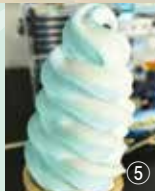
2020年11月登城。お隣の五稜郭タワーから五稜郭全体を撮影するも収まり切れず(写真③)。内部にある箱館奉行所は威厳ある佇まい(写真④)。五稜郭タワーでご当地ソフトクリーム・新選組ミックスも堪能(写真⑤)。



④



五稜郭HP



⑤

続日本100名城
No.109



⑥



⑦

ご当地キャラがお出迎え

3 よねざわじょう 米沢城

【住所】山形県米沢市丸の内1-4-13
【電話】0238-22-3189(上杉神社 社務所)

2022年8月登城。現在は上杉神社となっており、市民憩いの場(写真⑥)。境内では戦国武将・直江兼続の“愛”甲冑を着た米沢市の直江兼続マスコットキャラクター「かねたん」がお出迎え(写真⑦)。米沢牛の名店「登起波」で米沢牛ステーキを堪能(写真⑧)。



米沢城HP



⑧

お城巡りが趣味の中野支店長が実際に行った日本全国のお城を紹介

Vol.8 北海道・東北編

お城巡り



「日本100名城」は公益財団法人 日本城郭協会が2006年に定めた日本の名城100選です。現在は「続日本100名城」も選定されています。



公益財団法人
日本城郭協会 HP

私がお案内
します！



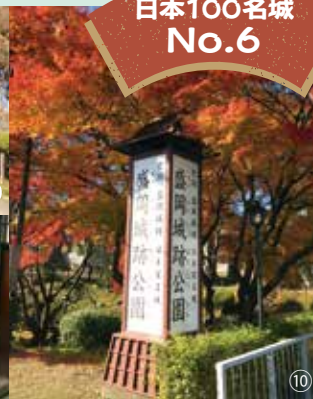
福岡銀行 添田支店
なかの みのる
中野 実 支店長

Profile 福岡県北九州市出身。1998年福岡銀行入行。門司支店を皮切りに箱崎、戸畑、総務広報部、宮崎、柳川支店で勤務。2017年バンコク駐在員事務所所長。2018年から大牟田、香椎支店の副支店長を務めたのち、2022年10月から現職。趣味で2019年11月から3年7カ月かけて「日本100名城」「続日本100名城」掲載の200城を踏破。公益財団法人 日本城郭協会から登城認定を受ける。

日本100名城
No.6



⑨



⑩

初めてづくし 4 もりおかじょう 盛岡城

【住所】岩手県盛岡市内丸
【電話】019-639-9057(盛岡市都市整備部 公園みどり課)

2020年11月登城。東北の高速で最高速度120キロ区間があり初体験。盛岡城は石垣が残る城跡(写真⑨)も見事だったが、案内板の紅葉に魅せられた(写真⑩)。名物わんこそばも79杯食べて証明書とともにご満悦(写真⑪)。



盛岡城HP

長崎だより

長崎の情報を
お届けします

FPG調査月報の姉妹誌「ながさき経済」を発刊している、ふくおかフィナンシャルグループの長崎経済研究所。長崎の旬な情報を提供するコーナー「長崎だより」の今月号は、同研究所の調査研究レポートのなかから、「針尾無線塔保存会」を紹介します。

長崎経済研究所による「ながさき経済web」随時更新中!



当研究所が発信する最新の情報をメールでお届けします。

メールマガジンの登録はこちら▶



お問い合わせ

株式会社長崎経済研究所

長崎市銅座町1番11号
十八親和銀行本店内
TEL095-828-8859



ながさき経済web画面

長崎経済研究所とは

長崎県の経済・社会・産業動向などに関する調査研究及び企業経営や県民の生活のお役に立つ情報をご提供するとともに、各種経済・文化団体の事務局活動等を通じて、地域社会に貢献することを目指しております。



針尾無線塔保存会

長崎経済研究所 調査研究部 泉 猛

当会について

「針尾無線塔保存会」(会長 田平 清男氏、会員100人)は2013

年3月6日、旧佐世保無線電信所(針尾送信所)が国の重要文化財に指定されたことをきっかけに、戦争の記憶を語りつぎ平和について考えてもらおうと、地元・佐世保市の名倉地区と小鯛地区に在住する有志ら100人が手弁当で立ち上げた会です。

針尾送信所

●施設の概要

針尾送信所は、旧日本海軍が1918年から4年の歳月をかけて建設した針尾島にある送信施設です。日露戦争を機に、無線連絡体制の整備が必要となったことから、総工費155万円(現在の価値で250億円相当)を費やし建設されました。

44,285・74㎡の広大な敷

地の中に、無線塔3基のほか、電信室1棟、油庫1棟、附・見張所1基などがあります。

この送信所は、国内に現存する唯一の長波無線通信施設として高い歴史的価値が認められており、土木史における国内最初期のコンクリート建造物です。さらに、技術史では、大正時代における国内最高水準のコンクリート技術を示すものとして高く評価されています。

このうち、無線塔は現存する自立式の電波塔として日本一を誇ります。この3基の無線塔は、いずれも高さ約136m、周囲38m、塔の底面積115㎡あり、300mの間隔を置いて、正三角形に配置されています。

●施設の歴史

この3基の無線塔は完成当時電線で結ばれていました。太平洋戦争の口火を切った真珠湾攻撃の暗号電文「ニイタカヤマノボレ1208」の信号は、ここで

中継・送信されたと言われています。

当送信所は、終戦後、海上自衛隊および海上保安庁の無線施設として運用されていましたが、1997年にその役割を終えています。その後、2013年の重要文化財(建造物)の指定を機に、同年6月から一般公開が始まりました。そして、2016年には日本遺産「鎮守府横須賀・呉・佐世保・舞鶴く日本近代化の躍動を体感できるまち」を構成する文化財の一つにもなっています。

2022年5月に放送されたNHKの土曜ドラマ「17才の帝国」では、無線塔や電信室がドラマの中



針尾送信所3号塔 筆者撮影



無線塔内部の様子 筆者撮影

において重要な存在として登場しました。

針尾無線塔保存会の活動

田平会長によると、「針尾送信所の来訪者数は、2024年はおよそ39,000人でした。県内だけではなく、遠くは関西や関東などからも足を運んでもらっています。また、地元・佐世保市や西海市内の小中学校の児童・生徒さんたちや、全国各地の学校から訪れる修学旅行生が、歴史を学ぶ授業の一環として当所や浦頭引揚記念資料館、無窮洞(※)などを訪れて関係者から当時の話を聞くなどしており、平和を考える良い機会を与える場ともなっています」

と語っています。

こうした観点から、これからもさらに多くの方に訪れてもらえるように、当会では次の3つに取り組んでいます。

① 施設の維持・管理

施設内を毎日2名体制で見回り、来訪者が安心・安全に過ごすことができるよう維持・管理に努めています。

② 訪問者へのガイド

当会にはガイドスタッフが4名在籍しています。来訪者にこの送信所の説明をすることで、文献では得られない当時の様子を理解してもらえるようにしています。

③ 清掃活動

敷地内の草刈りや清掃活動を定期的にを行い、訪問者が気持ちよく過ごしてもらえるようにしています。

田平会長は、「この針尾送信所が戦時中に国を守り、国民の命を守ってきました。一時は、この施設を取り

壊す動きもありましたが、日露戦争後、旧日本海軍が建設した「佐世保無線電信所(針尾送信所)」、「東京無線電信所船橋送信所(行田無線)」、「台湾の「鳳山無線電信所」のうち、無線塔が現存しているのはここ針尾だけです。貴重な建造物が地元に残っていることを誇りに思いながら、是非、平和について考えてもらいたいし、これから次世代を担う子どもたちにも語りついで行きたいです」と語ります。

(※)無窮洞：太平洋戦争末期に手掘りで掘られた防空壕



電信室 筆者撮影

見学時間：①9時～12時、②13時～16時(最終受付は15時30分まで)

駐車場：普通車30台、大型バス2台

- * 団体での見学は、駐車場やガイドの調整のため事前の電話連絡が必要です。
また、個人でもガイドが必要な方は事前に連絡して下さい。
- * 原則、見学日の10日前までに針尾無線塔保存会へご連絡下さい。

針尾無線塔保存会 電話番号0956-58-2718

今月の表紙

福岡銀行

若松支店

今月の表紙になった支店をご紹介します！



大藤 紗季 (おおふじ・さき)
2018年入行 (若松支店1年目)
FC担当
■趣味：映画鑑賞
■休日の過ごし方：友人とランチ



佐々木 俊也 (ささき・しゅんや)
2022年入行 (若松支店4年目)
総合営業担当
■趣味：旅行
■休日の過ごし方：ラグビー
(FFGブルーグルーパース所属)

私たちが
お答えします！

Q 若松支店の特徴は？

大藤 2025年3月にJ/R若松駅から徒歩5分の場所に新築移転し、駐車台数も倍に増え、お客さまによりご利用いただける店舗に生まれ変わりました。個室のコンサルティングブースでは、お客さまと隣同士で画面を共有しながら対話し、ご相談いただくスタイルになっています。アロママも焚いてより落ち着いた空間を演出しています。

佐々木 レトロモダンをコンセプトに、外観はレング調、内装は木目を多く使い、落ち着いた印象となっています。ロビーは吹き抜けとなっており、光も多く入り、開放感を与えてくれます。



Q 若松はどんなところ？

大藤 北九州市の北西部に位置し、かつて日本一の石炭積出港として栄え、環境産業や再生可能エネルギー産業が集積する地域です。玄海国定公園に指定された美しい海岸もあり、自然も共存する場所です。



高塔山展望台からの眺望

Q 若松のおすすめスポットは？

大藤 1962年に開通した若松区と戸畑区を結ぶ吊り橋の「若戸大橋」です。日本の長大吊橋の先駆けとして知られ、国の重要文化財に指定されています。夜は赤い光でライトアップされ、大変美しいです。

佐々木 「高塔山」です。真つ赤な若戸大橋及び八幡・小倉エリアにかけての工場群のナトリウム灯が輝く夜景は圧倒的であり、誰もが魅了されるはずです！



若戸大橋

Q 若松の名物は？

大藤 「みつばや酒店」のレモンジャムです。北九州市若松のレモンを丸ごと使用！レモンとグラニュー糖のみで丁寧に手作り、一つ一つを手詰めています。レモン本来のさわやかな香りと味が特徴の美味しいジャムです！



「みつばや酒店」のレモンジャム





2列目左3人目から井上支店長、林田副支店長

Q 今日のお昼ご飯は？



「エル・エヴァンス」のコロッケ定食



「藪そば」のBセット



大藤 開業半世紀を迎えたジャズ喫茶「エル・エヴァンス」のコロッケ定食です。石炭積出で栄えた時代に上海からジャズが伝わり、若松が九州ジャズ発祥の地とされています。ジャズが流れるお洒落な空間です。

佐々木 支店から歩いて3分の場所にある「藪そば」です。明治3年創業で、手打ちの茶そばはとても美味しいです。テレビ番組で紹介されたこともある若松の名店なので若松にお越しの際には足を運ばれてください！

読者にメッセージをお願いします。



福岡銀行 若松支店

住所：北九州市若松区本町3丁目5-5



大藤 店舗は新しくなっても想いは変わらず、これからも地域の皆さまのお役に立てるよう行員一同日々邁進して参ります。何かございましたらお気軽にご相談ください。

佐々木 地域の皆さまに寄り添い悩みを解決できるよう行員一同、日々邁進して参ります。ぜひ皆さま支店にお越しくください。

夏季企画展

旅する風景画

2025

6/20
(金)

9/6
(土)



山下 充《港風景(長崎稲佐山)》1981年制作 油彩 F10号

弊ギャラリーでは6月20日(金)から9月6日(土)まで、季節展示室と絵画展示室1、ホワイエにおいて、夏季企画展「旅する風景画」を開催いたします。

船の行き交う港町、新緑の木々で染まる山並み、歴史が息づく古都など、作品に描かれた風景は時代や地域性を色濃く反映するものも多く、そうした作品を鑑賞することは、かの地に訪れた画家たちと旅をしているようでもあります。本展では、山下充《港夕景(長崎稲佐山)》、甲斐仁代《新緑の池》、勝弘安《奥日光》など、油彩画、日本画、版画による作品11点をご紹介します。このうち5点は初公開となります。

また、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

※企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります

山下 充(やました・たかし)

1926~2016。静岡県志太郡(現、焼津市)生まれ。画家を志し小堀進に水彩画を学ぶ。その後、長崎県ゆかりの画家・野口彌太郎の知遇を得て、以後師事する。戦後、長崎に度々訪れ、1981年には「長崎を描く山下充展」を長崎市内で開催。後年は富士山を主題とした作品を手掛け、2002年からは郷里の静岡・日本平を拠点とした。賞歴:宮本三郎記念賞、川村賞(川村文化振興財団)など。

十八親和アートギャラリー

鑑 賞 無 料

【開館時間】10:00~16:00(入館は15:30まで)

【休 館 日】日・月・祝日、年末年始(12/30~1/4)

※土曜日が祝日の場合は開館



長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856 西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分